

新年度予算に対する評価と見解

日本共産党

共産党市議団は、行財政改革のあり方や鎌倉のまちづくりに関わる開発行政の問題などから一般会計予算など五議案に反対し、その他の議案については賛成しました。

【市政運営の基本姿勢】

依然として国民健康保険料の滞納者や就学援助の受給者などは増加傾向にあり、市民生活は全体として厳しい状況にあるといえます。また、原油価格の急騰や食料品の値上げ、後期高齢者医療制度の実施等により、生活に更なる影響を及ぼすことは必至です。こうした中で、市政運営においては、市民生活に配慮し、極力、負担の抑制に努め、暮らしを応援する立場で行うことが大切です。

具体的には、国民健康保険料の抑制・軽減、介護保険における負担軽減、障害者施策における利用料軽減や施設運営への助成、後期高齢者医療の保険料に対する軽減など、市民生活を守る立場で、施策を積極的に実施していくよう市長に強く求めました。

【行財政改革のあり方】

予算を見ると、子育て支援など個別の施策では積極的な内容も含まれていますが、行財政改革の在り方については見直す必要があります。職員数適正化計画により職員数が減る一方、市民対応が必要な福祉やこども部局などで厳しい体制となっている実態があり、市民サービスとの関わりから軽視できません。もちろん、無駄を是正する

ことは当然で、事務の改善など積極的な取り組みが必要です。同時に、人員配置については多くの団塊の世代の職員が退職する中、職場の実態を踏まえ、必要であれば増員も含めて適切に行う必要があることを指摘しました。

【開発行政の問題について】

岡本マンション開発問題については、市道の復旧工事などの課題がある中、いまだ工事のめどが立っておらず、問題解決に取り組む市の姿勢が厳しく問われています。隣接地権者の土地を使わずとも可能な工法など積極的な打開策を示す必要があります。

いま、世界遺産登録に向け、高度地区や景観地区の指定など、鎌倉のまちづくりに取り組む中、岡本マンション開発問題における一連の未解決課題は、市長の政治姿勢が問われるものであることから、新年度の早期に見通しを付けるよう強く要求しました。

【深沢地域のまちづくり】

今、深沢国鉄跡地を中心とした深沢のまちづくり計画に関連して、隣接する村岡地区（藤沢市）に新駅を誘致する問題が急浮上しています。新駅設置となれば鎌倉市にも多額の財政負担が生じる恐れがあり、市民への周知と慎重な検討が必要です。何よりも「深沢地域の新しいまちづくり基本計画」が、新駅設置によって、市民要求に基づく計画から遠ざかってしまうことのないよう市長に強く要求するものです。

新年度予算に対する評価と見解

ネットワーク鎌倉

相次ぐ職員不祥事やごみ処理施設、開発問題など未解決の課題が多く、環境や福祉政策の遅れなどを指摘し、ネットワーク鎌倉は、二〇〇八年度予算に反対しました。

【不祥事再発防止対策】

昨年から世界遺産登録公文書偽造や保育料の不正請求、学歴詐称など職員の不祥事が相次いでいます。市民の信頼を著しく失墜してしまい、職員の意識改革が求められています。

コンプライアンス体制を整え、定期的な点検と見直しを行う委員会組織等の設置や公益通報者保護制度を条例化するように提案しました。

【地球温暖化防止には交通対策が必須】

二酸化炭素削減には、公共交通網の利便性を高め、マイカーを減らすことが必要です。観光客が利用するパークアンドライドは、すべてが海岸沿いにあり、渋滞解消には不十分です。朝比奈インター等の降口や大船駅、深沢地域にも設置すべきです。さらに中心市街地に公共交通以外の自動車の乗り入れを制限するランジットモールを鎌倉駅周辺に導入するよう求めました。

【ごみ問題について】

今泉・名越の焼却炉は老朽化のため、二〇一三年、二〇一四年までの使用とされており、焼却ごみ削減のためには、生ごみ資源化施設建設が必要です。しかし、急遽候補地を関谷

に変更したため、地元住民からは理解が得られていません。そこで、誠意ある対応と最大限の努力を求めました。また、発生抑制を進めるために、ごみ処理有料化と戸別収集の早期導入を要望しました。

【子育て支援】

病後児保育は、ニーズの高い自宅への派遣型を制度化するよう要望しました。子どものは家は、全校配置になりましたが、学校から離れている施設が多く再編整備が必要です。

また、青少年支援として居場所づくりや音楽・演劇活動ができるスタジオの設置を要望しました。

【高齢者福祉の充実を】

待機者が増加している特別養護老人ホームの増設を求めました。また、利用率の高いショートステイは、緊急時に対応ができず、更なる充実が必要で

す。認知症のデイサービスについては、六カ所の計画予定が、一カ所しかなく、早期に対応を図るよう求めました。

【武田薬品新研究所の安全性について】

新研究所には危険度の高い病原体の遺伝子操作が可能なP3施設が含まれており、これらに関する情報提供はほとんどされていません。予防原則にのっとり、市民の健康と安全を守るために情報収集をするよう要望しました。

新年度予算に対する評価と見解

自由民主党倶楽部

【ごみ問題を問う】

地方自治体にとって最も重要な役割は、環境対策であります。以前は公衆衛生に力点を置き行っておりましたが、近年は、再資源化が、主流になりつつあります。しかし、幾ら再資源化してもごみゼロにすることは難しく焼却処理する施設は、どうしても必要であります。

鎌倉市は、今泉と名越に焼却施設を保有しておりますが共に老朽化が進み、大規模改修を要する時期を迎えております。前市長当時、ごみ半減を実現し、名越一カ所の改修で全市の焼却処理を賄おうとし、今泉を休止したとたんに計画がとん挫し、恥ずかしながら他市の助けを請うことになりました。おかげ様でイタリアのナポリのように町中にごみが散乱することなく第一回目のごみ処理危機を乗り切ったのであります。その後、様々な環境が変化し、再資源化等減量化に努めながら、コストメリットと環境負荷を考慮して複数の自治体が共に広域処理を行うよう国の方針転換が図られ、補助金の在り方も基本的にには広域施設以外には交付しないよう変わりました。

そこで、当市は横須賀、三浦、逗子、葉山の四市一町による広域処理グループに入り、広域処理の在り方を検討してきたのですが、山北町で広域焼却処理を行うエコループ構想が発表されるや逗子市と共に浮気をしてしまい、エコループ構想がとん挫した後に再び

四市一町の枠組みでお願いしたいと申し入れを行ったのですが、時既に遅し、浮気した二市でやって下さいということになってしまいました。第二のごみ処理危機の始まりであります。

その後、逗子市との協議を始め、焼却ごみ施設は逗子で、生ごみ資源化施設は鎌倉でとの覚書を交わしたもののスケールメリットを計算した結果、逗子市は生ごみの広域処理に参加しないと一方的に宣言されてしまいました。鎌倉市のごみ処理の在り方については、逗子市との広域処理を行うこと以外検討されておりません。ありとあらゆる可能性を緊急かつ速やかに検討するべきであります。一回目の危機の際、助けていただいた川崎市に列車で運ぶのも有効な手段でありますし、お隣りには、日本の政令市横浜もあります。世界の歴史史跡保全を鎌倉が担当する代わりに、廃棄物を他市でお願いできないか、県にも仲介の労を取って頂けるようお願いして頂きたいと思

います。最後に関谷に計画中の生ごみ処理施設の件に触れておきますが、「予算は政策の鏡」といわれます。補正予算で用地買収を行い、補正予算で建設費を計上するといった異常なやり方をせず、正々堂々と用地買収費と施設建設費を本予算に計上し、議論できる環境を保証すべきであります。第二のごみ処理危機を乗り越えるべく、今こそ全市を挙げて英知を結集し、共に頑張ろうではありませんか。